

# 新聞新報

2007年(平成19年)4月8日 日曜日

## 温泉宿泊解約7万人

### 能登地震 朝市出店数も激減

能登半島地震が、石川県内の観光に影響を与えている。宿泊予約のキャンセルが能登半島の和倉温泉(七尾市)と輪島温泉(輪島市)だけで計7万人以上、被災地から遠い加賀温泉郷(加賀、小松市)でも3000人以上に上っている。損傷した旅館などもほとんどは4月下旬までに再開する見通しで、観光関係者は「実際に泊まりに来てもらうのが一番の復興支援」と呼びかけている。

和倉温泉では、地元の旅館協同組合によると、29の旅館ホテルのうち、休業している4館のうち3館は4月下旬までに再開する見込みだ。しかし、予約客約7万人の9割がキャンセルして、6、7月分の予約も含み、生後の予約キャンセルは約

9000人になっている。そのうち約7000人が集中した「高州園」の的場明司社長は「能登は危ないと

いう、実態とかげ離れた印象を持たれた」と話す。輪島市から100キロ以上離れた加賀温泉郷では、被害も休業施設もないが、それでも約3300人が予約を取り消したという。宿泊客の激減は周辺観光施設にも影響する。輪島市観光協会によると、輪島名物の「朝市」では、通常150〜200店が出店しているが、地震後は20〜30店程度。市朝市組合は11日から通常営業に戻ると、常連出店者呼びかけている。暗闇の中で巨大な御神灯の「キリコ」を見せる輪島市の「キリコ会館」では、1日平均約300人の来館者がいたが、現在は多くて10人程度。同会館は「朝市の正常化に期待している」と話している。

1382世帯で被害  
門前町地区中間報告  
能登半島地震による被害が大きい石川県輪島市門前町地区で、市が行っている家屋被害の実態調査(全3349世帯対象)で、調査の終わった1419世帯のうち、1382世帯で被害があることが、7日の市の中間報告で分かった。

家屋被害の内訳は、全壊232世帯、半壊320世帯、一部損壊830世帯。

輪島市全体では、1万3232世帯のうち5194世帯で調査を終え、4789世帯で何らかの被害が出た。



復旧が近いにもかかわらず予約キャンセルが相次ぐ和倉温泉(6日、石川県七尾市で)

まれているという。輪島温泉では、16の旅館・ホテルのうち、休業は建物損傷するなどした3館にとどまり、4月中旬にはすべて再開する予定だが、旅館組合によると、地震発生後の予約キャンセルは約